

Varian Gemini 2000 基本&便利コマンド集
2003.2.15 Revised by Eri Goto

実験エリア関係

jexp ○	実験エリアを ○ に変更
mf(a,b) jexpb wft	実験エリアを a から b に変更し、実験エリア b の FT データを見る。

セットアップ～測定

su	set up
nt= ○ ○	積算回数を ○ ○ に設定
nt?	積算回数を尋ねる
sw= ○ ○	スペクトル幅を ○ ○ に設定
time	測定時間を尋ねる

スペクトルの表示・修正

wft	waited Fourier transfer	FT データの表示
dscale		スケール表示
axis='p'		スケールを ppm 単位で表示
axis='h'		スケールを Hz 単位で表示
aph	auto phase	
nl rl(○ p)		指定したピークの真ん中をとり、○ ppm に合わせる
cz		カットした積分曲線をつなぐ
bc		積分曲線以外の部分のベースラインを補正する
dpf		ピーク値の表示

プロット

pl	plot line	スペクトルと積分曲線の印刷
pscale	plot scale	スケールの印刷
pir	plot integral region	積分値の印刷
ppf	plot peakfold	スペクトルのピーク上にピーク値の印字
pap	plot all parameters	測定条件の印字
pll	plot line list	ピーク値を表の形で印字
page		印字

Varian Gemini 2000 データの保存・読みだし
2003.2.15 Revised by Eri Goto

保存

- **Main Menu**
- **File**
- **Set directry** 自分の名前のディレクトリを選択
- **Change** 選択したディレクトリに入る
- svf('○○○○') <Return> ファイル名を○○○○に入力
- **Set directry**
- **Parent** 必ず親のディレクトリに戻る。

データの保存場所は、**home/vnmr1/vnmrsys/data/**の下の、各自のディレクトリとなる。Parent は、1 つ上のディレクトリに移動することを意味するので、上に行きすぎてマシンの内部に潜入しないように！！データ全てが消去される、あるいはマシーンが故障するおそれがあるので注意！！

読みだし

- **Main Menu**
- **File**
- **Set directry** 自分の名前のディレクトリを選択
- **Change** 選択したディレクトリに入る
- **Return** → **load** 測定条件が読み出される
- wft <Return> FT データの表示。適宜加工し、プロット。